



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション

コード番号 3370 URL <https://www.fujitacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

TEL 0144-34-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,462	3.6	39	13.1	31	0.0	14	9.3
2025年3月期中間期	2,376	8.6	35	36.5	31	0.7	13	15.5

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 18百万円 (34.6%) 2025年3月期中間期 13百万円 (1.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	4.08	—
2025年3月期中間期	3.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,797	229	8.2
2025年3月期	2,798	238	8.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 229百万円 2025年3月期 238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,139	5.1	149	30.8	131	16.4	123	28.0
								35.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	3,432,300 株	2025年3月期	3,413,300 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	79 株	2025年3月期	79 株
期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	3,415,255 株	2025年3月期中間期	3,413,221 株

第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D netで同日開示しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 3 月期	—	—	—	180.00	180.00
2026 年 3 月期	—				
2026 年 3 月期（予想）		—	—	20.00	20.00

（注）2026 年 3 月期の配当予想額につきましては、約定通りであります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、円安傾向、それに伴う物価上昇の継続並びに世界情勢の不安定による影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料、光熱費及び人件費高騰の影響が非常に大きく、大変厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて、高収益が見込まれる業態について慎重に検討したうえ、新規出店、譲受出店、大規模改装及び新規事業への参入を進めることとしており、当中間連結会計期間において、北海道網走郡津別町の「道の駅あいおい」の運営を受託し、新規に事業を開始いたしました。

当中間連結会計期間末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は48店舗、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,462,062千円（前年同期比3.6%増）、営業利益39,577千円（同13.1%増）、経常利益31,024千円（同0.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益14,831千円（同9.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

a. 飲食・小売部門

当中間連結会計期間における飲食・小売部門におきましては、フランチャイジー事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は期間限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやSNS等及び店頭にて特定商品を訴求することで客単価増やリピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食・小売部門の当中間連結会計期間の売上高は2,197,062千円（前年同期比4.3%増）となったものの、改装費用の増加等に伴い、セグメント利益59,885千円（同18.5%減）となりました。

b. 製造・卸売部門

当中間連結会計期間における製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、効率的かつ最大製造数を目標に掲げるとともに、新たな商品の開発及び販売並びに新規取引先開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当中間連結会計期間の売上高は163,122千円（前年同期比4.1%減）となったものの、製造効率改善により、セグメント利益2,130千円（前年同期はセグメント損失8,390千円）となりました。

c. 農畜産部門

当中間連結会計期間における農畜産部門におきましては、搾乳量の増加目標を掲げ、栄養管理、牛舎環境の改善、牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めてまいりました。

農畜産部門の当中間連結会計期間の売上高は101,876千円（前年同期比1.5%増）、セグメント損失14,842千円（前年同期はセグメント損失22,585千円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は695,665千円となり、前連結会計年度末に比べ9,663千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が27,516千円減少したこと等によるものであります。固定資産は2,101,812千円となり、前連結会計年度末に比べ8,195千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が23,644千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,797,478千円となり、前連結会計年度末に比べ1,468千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は876,934千円となり、前連結会計年度末に比べ91,465千円増加いたしました。これは主に短期借入金が90,276千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,690,795千円となり、前連結会計年度末に比べ84,098千円減少いたしました。これは主に長期借入金が88,576千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,567,729千円となり、前連結会計年度末に比べ7,367千円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は229,748千円となり、前連結会計年度末に比べ8,835千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益14,831千円を計上したものの、剰余金の配当24,826千円、A種優先株式の消却10,000千円を行ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は8.2%となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、当中間連結会計期間における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも前年同期と比較して順調に推移しておりますが、原材料、光熱費、人件費等の値上がりが継続する場合は、当社グループの業績に多大な影響を及ぼすことが予想されます。それらの安定の見通しなどの未確定な要素があるものの、各種コストの削減、締結済の契約内容の見直し等を継続してまいります。また、飲食・小売部門については、新規事業であります「道の駅あいおい」の運営受託事業を早期に軌道に乗せること、製造・卸売部門については、原材料をはじめとするコストコントロールと効率的な製造及び適切な在庫管理を、農畜産部門については、乳牛の栄養管理強化に伴う生乳出荷量増を継続目標として掲げてまいります。

連結業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、営業利益39,577千円、経常利益31,024千円、親会社株主に帰属する中間純利益14,831千円を計上している一方で、有利子負債が2,110,623千円と負債純資産の75.4%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、一部の取引金融機関から返済条件の緩和を継続的に受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定商品やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやSNS等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコストの削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。さらには、「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実や海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、一部の取引金融機関に対し、長期借入金元本返済条件緩和の継続を要請し、同意を得たうえで返済をしておりますが、今後もすべての金融機関との取引正常化に向けて活動を継続し、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと認識しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	365,424	337,907
売掛金	180,057	159,231
商品及び製品	25,028	34,962
仕掛品	12,537	11,078
原材料及び貯蔵品	65,558	81,519
その他	56,723	70,965
流動資産合計	705,329	695,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	809,872	810,944
機械装置及び運搬具(純額)	8,766	12,189
土地	428,228	429,227
建設仮勘定	528	528
その他(純額)	143,841	161,991
有形固定資産合計	1,391,237	1,414,881
無形固定資産		
のれん	45,578	37,982
借地権	140,000	140,000
その他	7,767	8,747
無形固定資産合計	193,346	186,729
投資その他の資産		
投資有価証券	61,897	56,440
敷金及び保証金	401,364	400,075
繰延税金資産	24,864	23,075
その他	50,932	50,632
貸倒引当金	△30,024	△30,024
投資その他の資産合計	509,033	500,200
固定資産合計	2,093,617	2,101,812
資産合計	2,798,946	2,797,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,639	105,512
短期借入金	228,772	319,048
1年内返済予定の長期借入金	156,389	186,988
リース債務	5,611	8,092
未払金	171,448	163,304
未払法人税等	54,410	13,324
その他	81,197	80,662
流動負債合計	785,468	876,934
固定負債		
長期借入金	1,654,429	1,565,853
リース債務	21,413	27,964
資産除去債務	16,134	16,246
その他	82,916	80,731
固定負債合計	1,774,894	1,690,795
負債合計	2,560,362	2,567,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,985	73,622
資本剰余金	549,534	162,259
利益剰余金	△1,205,885	△14,997
自己株式	△53	△53
株主資本合計	233,580	220,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,933	8,847
その他の包括利益累計額合計	4,933	8,847
非支配株主持分	70	70
純資産合計	238,583	229,748
負債純資産合計	2,798,946	2,797,478

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,376,978	2,462,062
売上原価	970,016	1,002,321
売上総利益	1,406,961	1,459,740
販売費及び一般管理費	1,371,955	1,420,162
営業利益	35,006	39,577
営業外収益		
受取利息	117	451
受取配当金	634	672
不動産賃貸料	72,205	69,495
その他	14,389	4,305
営業外収益合計	87,346	74,924
営業外費用		
支払利息	23,370	24,972
不動産賃貸原価	58,152	56,772
その他	9,805	1,732
営業外費用合計	91,328	83,477
経常利益	31,024	31,024
特別利益		
資産除去債務戻入益	2,190	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	281	—
特別利益合計	2,472	—
特別損失		
固定資産除却損	4,315	3,554
店舗閉鎖損失	2,099	1,183
減損損失	—	4,642
特別損失合計	6,415	9,380
税金等調整前中間純利益	27,082	21,644
法人税、住民税及び事業税	13,507	6,812
法人税等合計	13,507	6,812
中間純利益	13,574	14,831
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	13,574	14,831

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	13,574	14,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	349	3,914
その他の包括利益合計	349	3,914
中間包括利益	13,924	18,745
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	13,924	18,745
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	27,082	21,644
減価償却費	64,253	68,397
減損損失	—	4,642
のれん償却額	7,596	7,596
株式報酬費用	—	7,245
資産除去債務戻入益	△2,190	—
店舗閉鎖損失	2,099	1,183
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△2,181	—
受取利息及び受取配当金	△751	△1,133
支払利息	23,370	24,972
固定資産除売却損益(△は益)	4,315	3,554
売上債権の増減額(△は増加)	40,153	20,825
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,770	△24,436
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,823	17,872
未払金の増減額(△は減少)	△9,322	△7,781
預り保証金の増減額(△は減少)	△3,761	△1,650
その他	△33,009	△24,365
小計	99,060	118,568
利息及び配当金の受取額	751	1,133
利息の支払額	△27,259	△26,252
法人税等の支払額	△15,182	△33,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,370	60,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△12,000
投資有価証券の取得による支出	△829	△841
投資有価証券の売却による収入	—	12,000
有形固定資産の取得による支出	△153,468	△92,264
長期貸付金の回収による収入	1,104	656
敷金及び保証金の回収による収入	8,761	1,460
資産除去債務の履行による支出	△364	—
その他	△4,280	△2,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,077	△93,781
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,705	90,276
長期借入れによる収入	900,876	—
長期借入金の返済による支出	△962,716	△57,976
リース債務の返済による支出	△1,426	△3,376
自己株式の取得による支出	—	△10,000
配当金の支払額	—	△24,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,972	△5,781
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△165,679	△39,516
現金及び現金同等物の期首残高	514,858	362,424
現金及び現金同等物の中間期末残高	349,178	322,907

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結貸借対照表に関する注記)

当社及び連結子会社においては、成長投資等に向けた機動的な資金調達を目的として、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越極度額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	—	100,000
差引額	100,000	—

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算 書計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,106,448	170,154	100,375	2,376,978	—	2,376,978
外部顧客への売上高	2,106,448	170,154	100,375	2,376,978	—	2,376,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	677	677	△677	—
計	2,106,448	170,154	101,052	2,377,656	△677	2,376,978
セグメント利益又は損失 (△)	73,495	△8,390	△22,585	42,519	△7,513	35,006

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれん償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算 書計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,197,062	163,122	101,876	2,462,062	—	2,462,062
外部顧客への売上高	2,197,062	163,122	101,876	2,462,062	—	2,462,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,197,062	163,122	101,876	2,462,062	—	2,462,062
セグメント利益又は損失 (△)	59,885	2,130	△14,842	47,173	△7,596	39,577

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月26日開催の第47回定時株主総会決議により、同日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金819,985千円及び資本準備金549,534千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、増加したその他資本剰余金のうち1,176,057千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。